

令和6年度 第1回生坂村脱炭素先行・再エネ推進事業評価会議 会議録

日 時：令和6年5月8日（水）13時30分

場 所：生坂村役場2階 第2会議室

【委員長互選】

委員からの推薦がなかったため、事務より推薦し決定

【協議事項】

（1）令和5年度事業進捗状況報告

・脱炭素先行地域づくり事業の事業実施期間、事業目的、事業対象地域、事業の実施体制、全体事業の概要（①オンサイトPPA ②オフサイトPPA③自営線マイクログリッド ④小水力発電 ⑤断熱改修、省エネ機器導入補助⑥古民家リノベーション ⑦村営住宅ZEH化 ⑧村営バスEV化、公用車EV化、充放電設備 ⑨バイオマス熱利用 ⑩効果促進事業）について事務局より説明

・環境省に提出した進捗状況報告票により、総論とし、令和5年度の計画の変更箇所、今後の計画の変更の可能性、今後の展開について、選定時の評価委員からの講評について説明し、次に対象年度の事業の主なエリア図を進捗状況、民生部門の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロの実現についての取組内容16事業を事務局より説明。

（2）評価委員による講評（質問・意見）

【質問】

・削減するCO₂について変更できるのかとの質問に対し、目標に対して30%までの変更が可能と回答

・高齢者の対応についての質問に対し、説明会でも高齢者世帯への対応については質問があり、その対応については調整していると回答

・断熱改修で県の補助事業とは重ねられるかの質問に対し、国の補助事業を入れた場合は重ねて補助はできないと回答

【意見】

・民家のオンサイト PPA で屋根への太陽光パネルの設置で屋根に設置できない家屋は敷地内の空き地等に設置していく事も有効ではないか

・民間の住宅断熱改修の補助事業について、補助残については金融機関、共同出資者 J A による融資融資も考えてはどうか

・ペレット工場については課題が多いので、薪、ペレット、チップを作る事について検討し、広域的に対応していく事が望ましい

・5年度までの事業への取り組みは順調にきていると感じている。今後の取組についても都度しっかり進めて欲しい

・木質バイオマスについて葡萄の選定木等について有効利用して欲しい

・木質バイオマスについて、空き家の解体材で木材についてバイオマス燃料等の再利用を検討して欲しい

・村内は山が急峻で伐採するのが大変で、木の搬出についても人力で対応しなければいけないので費用が増えてしまう

・脱炭素に向けての事業項目が多く生坂村の脱炭素に向けての意気込みを感じている。今後県としても出来ることは支援していきたい。

・県内で生坂村の様に説明会を数多く行っている自治体はないと感じている。今後もこのように進めていき自給自足ができる村を目指して欲しい

○その他

・今後の予定として、本評価委員会を年2回開催することし、次回は12月頃に開催することをお知らせした。